



令和7年10月30日

11月 調布幼稚園だより



『「楽しい!」「不思議!」「もう1回!」

心が動く水・砂・土の遊び』

園長 山形美津子

秋風が心地よい季節になり、深まりゆく秋を感じる毎日です。

先日の運動会では、保護者の皆様、地域の皆様にご来場いただき、子どもたちの競技や演技に沢山のご声援をいただきまして誠にありがとうございました。お陰様で子どもたち一人一人が力を出し切って取り組むことができました。

運動会のその後は、運動会で年長組が取り組んだ「ソーラン節」の音楽を年中組が借りて踊り方を教えてもらい再現して楽しむ姿が見られたり、年少組は年中組が演技したバルーンを借りて、扱い方を教えてもらいながら楽しんでいました。一人一人の子どもが、やればできるんだという自己肯定感をもつことができた運動会でした。子どもたちの健康管理や日々の生活を支えて下さったご家族の皆様、ありがとうございました。

さて、今号のタイトルは、今年、調布幼稚園の教員が研究をしてきた内容をソニー教育財団の実践報告に応募した時のテーマです。ソニー教育財団では毎年「ソニー幼児教育支援プログラム」として、子どもたちの主体的な遊びや生活を大切にしたい「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育むための保育実践とその考察に基づく今後の方向性を明確にした論文を募集しています。求められている論文は「科学する心を育てる」～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～という内容の保育実践です。

本園の教員は、子どもたちの科学的な学びは一方的な知識の伝達ではなく、探求心や主体的な育ちに繋がっていくものであり、子どもたちの「もっと知りたい」「やってみたい」という気持ちを引き出す保育者のかかわりが必要であると考えています。そのために子どもの興味に寄り添いながら問いを深め、観察・比較・予想・思考・振り返りといったプロセスを大切にする教育実践が課題であると捉えています。そこで、子どもたちが日常よく活動している「水・砂・土の遊び」をテーマにして、遊びの楽しさや不思議さを感じていることや気付き等の実践をまとめました。

近年、学校や公園の「砂場」が減少しているという事実があります。砂場は子どもたちの想像力と創造性を育み科学する心を育てる貴重な場です。

年少組の事例は「砂、足食べた!」です。砂場で水を使った遊びの時に裸足になった足がズブズブと砂に入っていく様子を子どもたちが「砂に足を食べられた」という表現をし、先生や友達と会話を楽しんで共感し合っている微笑ましい事例です。

年中組は、「今日も川を作ろう」という事例で、自分たちが砂場で作った川を、地域にある多摩川をイメージし、川が蛇行していることや関連の東急多摩川線のことも遊びの中に出てきて視野が広がっていたり、どうすれば、水の流れを変えたり止めたりできるのかという思考を巡らせたり試行錯誤を通して科学する心を育んでいる事例です。

年長組は、「3つの泥団子」という事例です。硬いピカピカに光る泥団子を作るためにいろいろな土や砂で試し砂場の土より粘り気のある田んぼの土や荒木田土を使う方が適していることを経験的に発見しています。それぞれの土の性質に着目した団子づくりも物事の性質を知る知的好奇心に繋がり、科学する心です。また毎日、団子の「世話をする」という自分の物に愛着をもち大切にするという気持ちの醸成にも繋がっていった事例です。

この研究を通して、子どもの心が動き感じたり気付いたりすることを大切に受け止め、共感し、常に子どもが主体的に働きかける環境をこれからも共に創っていきたくて共通認識しました。

この研究の実践報告の冊子を昇降口の受付のところに置いておきますので、ご興味のある方はどうぞお手にとってご覧下さい。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご指導ご支援の程、よろしくお願い致します。

11月の目標

全学年

- 冬野菜や春に花を咲かせる種や球根を植え、発芽や生長に期待をもつ。
- 紅葉など葉の色の変化や木の実などを見たり、遊びに取り込んだり、北風を感じる等、秋から冬への自然の変化を感じる。

年少組

- 身近な素材を使って工作をしたり、イメージを膨らませてごっこ遊び等をしたりしながら、自分の思いや考えを表現することを楽しむ。
- 友達と遊ぶ中で、友達の気持ちにも気付けるようになり、時には譲ったり、我慢したりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 長袖のブラウスや体操服の裏返しを直す等、自分で行えるようになる。
- 気持ちのよい気候の中で、思い切り体を動かし遊ぶ楽しさを味わう。
- 表現ステージに向けて、みんなで踊ったり歌ったりすることを楽しみ、お家の方に見てもらう喜びを味わう。

年中組

- 様々な素材や遊具を使って自分なりに工夫したり、友達と一緒に考えたり、作ったりして出来上がっていく満足感や、それを使って遊ぶ楽しさを十分味わう。
- 友達との遊びの中で、思いを出しながらかわりを楽しんだり、思い通りにならないことがあったりすることにも気付いていく。
- 色々な運動遊びを体験し、体を使って思い切り遊ぶ満足感や充実感を味わう。
- 表現ステージの劇では、お話の流れが分かり、役になり切る楽しさや同じ役の子と気持ちを合わせてセリフを言う楽しさを味わい、やり遂げた満足感を味わう。

年長組

- 表現ステージに向けて取り組む中で、自分の力を発揮したり、友達の良さに気付いたり、認めたりすることで、みんなでやり遂げた充実感や達成感を味わう。
- 表現ステージの劇では、お話の流れが分かって役になり切って表現したり、仲間とタイミングを合わせたりして、みんなと一つの劇を作り上げる楽しさを味わう。
- 学級で仲間と共通のめあてをもって互いに考えを出し合い、相談し、折り合いを付けながら、活動を進める。
- やって良いこと、悪いことなどを考えて行動し、規範意識を身に付けていく。



【研究冊子】

昇降口の受付のところに置いてあります！
ご興味のある方はどうぞお手にとって
ご覧下さい。

